

処理対象人口と処理槽の構成

JARUS - XV₉₆型の処理対象人口は 101 人から 6,000 人までですが、処理槽の構成は人口規模に応じ、次のとおりです。

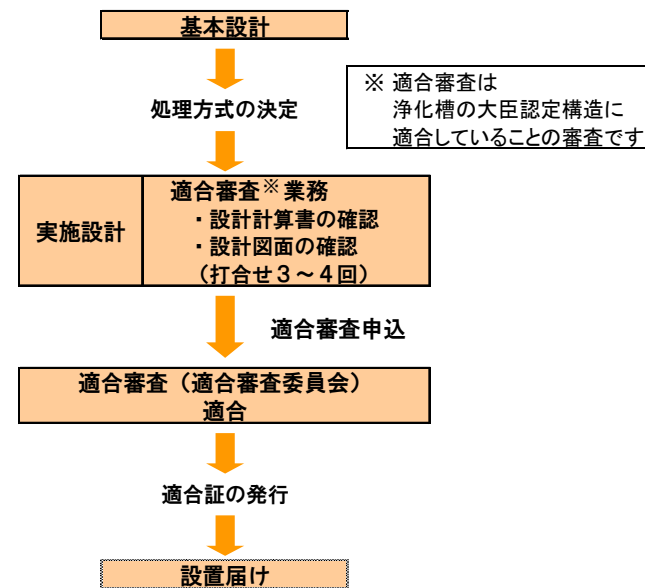
処理対象人口	系列	ばっ気槽	沈殿槽	処理対象人口 (人)						
				100	500	700	2,000	3,000	6,000	
101人 ～ 3,000人	1系列	1室	ホッパー型	○	●					
		2室並列	掻寄機型		○		●			
2,001人 ～ 6,000人	2系列	2室並列	掻寄機型				○		●	

JARUS型施設の利点と設計の進め方

■JARUS型施設による4つの利点！

- 多様な処理システムを開発しています。
 - 各種の処理方式の中から地域特性に見合った処理方式が選択できます。
- 設計指針の整備により合理的な設計を行います。
 - 設計指針の整備により、施設設計の簡素化や合理化が図れます。
- 高い維持管理性を確保したものです。
 - 設備や単位装置の基準化により、維持管理業務の標準化を通じて高い維持管理性を確保します。
 - 維持管理マニュアルを整備し、適正な維持管理が図れます。
- 工事発注等に際し、公平性を確保します。
 - JARUS型施設は、設計者及び施工者を特定していません。
 - 施設に用いる機器類は、汎用品の採用に努めています。
 - 使用する主要機器は、汎用化した図面等によるものとし、設計者及び施工者等を制限しません。

■JARUS型施設に係る設計の進め方



〒105-0004
東京都港区新橋五丁目34番4号
電話 (03) 3432-5295 (代)
FAX (03) 3432-0743
<http://www.jarus.or.jp/>

表紙の写真は、「私の好きな日本の農村」フォトコンテスト入賞・入選作品から選定しました。

2014.7

JARUS - XV₉₆型

JARUS型施設の手引



一般社団法人 地域環境資源センター

JARUS - XV₉₆型とは……コンパクトで高度な汚水処理ができる処理施設です。

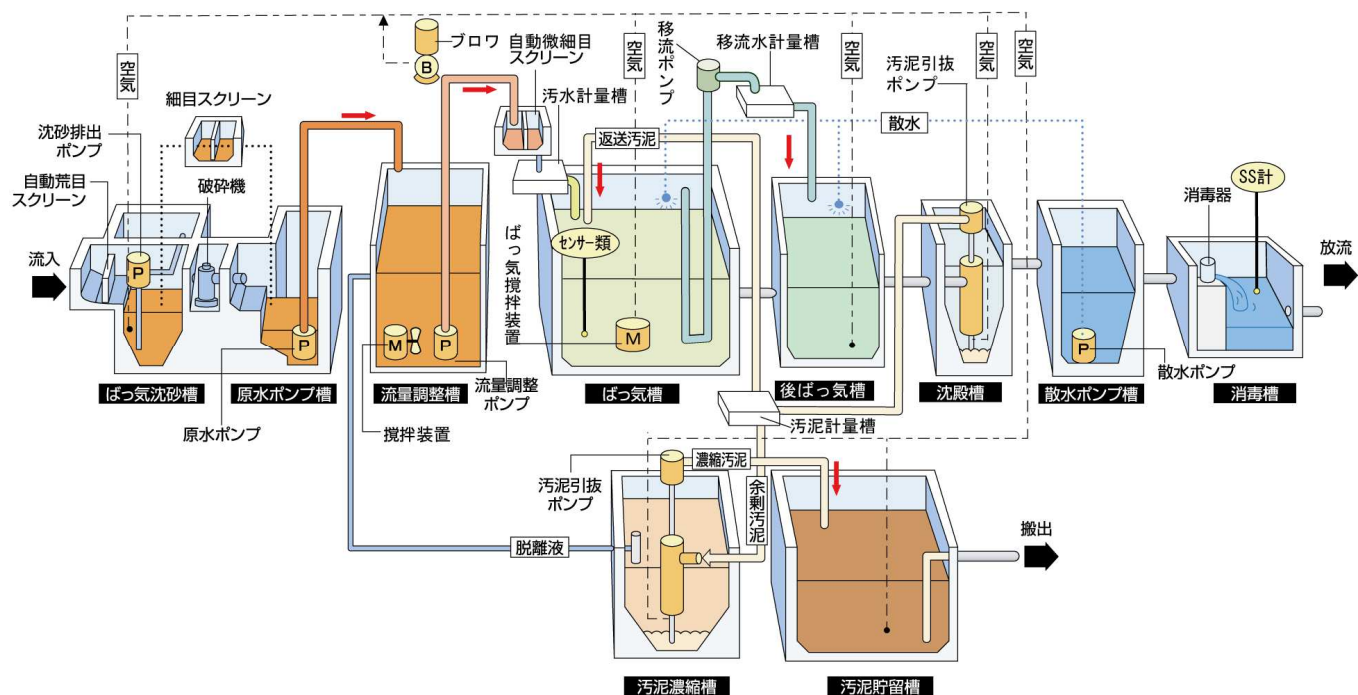
JARUS - XV₉₆型の特徴

- ・小規模な地区から大規模な地区まで幅広い処理対象人口に対応し、特に高度な汚水処理が求められている地域に適した汚水処理施設として開発したものです。
 - ・処理対象人口及び計画処理水質は次のとおりです。
- | 処理対象人口 | 計画処理水質 (mg/L) | | | |
|--------------------|---------------|------|------|------|
| | BOD | SS | COD | T-N |
| 101人以上
6,000人以下 | 10以下 | 15以下 | 15以下 | 10以下 |
- ・建築基準法に基づき、尿尿浄化槽の構造基準の規定と同等以上の性能を有する施設として国土交通大臣の認定を取得しています。
 - ・水温や流入負荷に合わせた適切なばっ気槽の搅拌・ばっ気搅拌工程時間の設定を行うことにより、高度な処理水質を得ることが可能です。
 - ・流入汚水量が少なく必要水量が得られないときは、ウェイティングモード運転に切り替え、サイクルの開始を停止し、ばっ気槽を待機状態にすることによって流入変動に対応します。
 - ・ばっ気槽において、流入工程とばっ気工程を間欠的に行うことにより、BOD、SS及びCODについて高い処理性能を確保するとともに、窒素についても優れた処理がなされます。
 - ・流入負荷の変動や汚水の水温変化等に対応し、搅拌時間とばっ気搅拌時間の比率の設定や、ばっ気槽における汚水の溶存酸素濃度(DO)、浮遊物質濃度(MLSS)等の制御を適切に行うなど、きめ細かい管理が必要です。

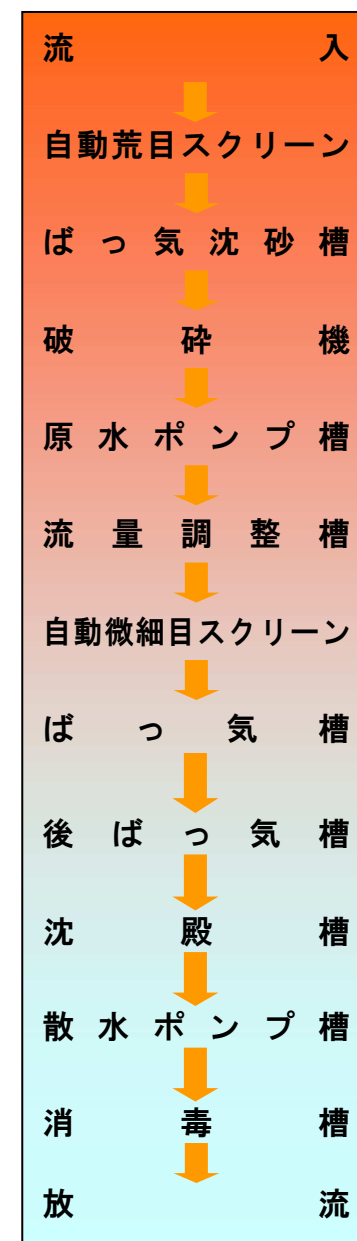
処理方式とフローシート

■処理方式 間欠流入間欠ばっ気方式

■フローシート



処理工程の説明

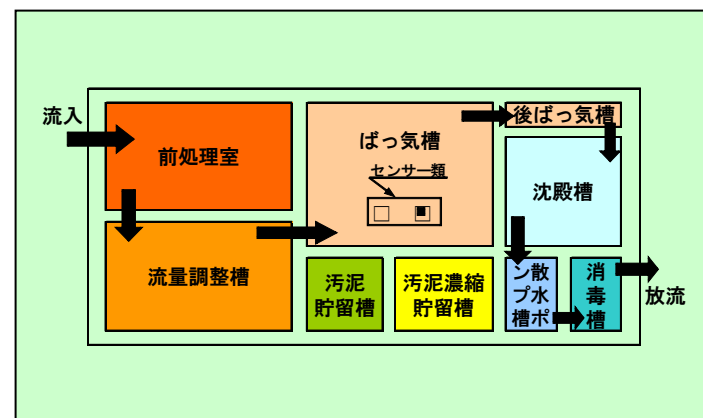


- ・汚水中の夾雑物等を除去し、原水ポンプの破損及び後段の処理槽等の機能低下を防止します。
- ・汚水中の土砂類を排除します。
- ・汚水中の固形物等を破砕します。
- ・流量調整槽へ汚水を移送します。ただし、流入管底が浅く自然流下により流量調整槽に移流させることができる場合は不要となります。
- ・汚水を一時貯留し、流量及び水質の変動を平準化するとともに、ばっ気槽への汚水の移送を間欠的に行います。
- ・汚水中の微細なし渣等を除去します。
- ・汚水の流入は搅拌工程中に行います。また、搅拌とばっ気搅拌を交互に行い、嫌気状態と好気状態を繰り返すことによって、有機物と窒素を効果的に除去します。
- ・汚水を好気的な状態に保つことにより、後段の沈殿槽のスカム浮上防止等を図ります。
- ・混合液を沈降させて固液分離を行い、清澄な処理水を得ます。また、沈殿汚泥をばっ気槽の汚泥濃度を維持するためにばっ気槽に返送します。
- ・ばっ気槽のスカム除去や消泡等のため、散水用の処理水を一時貯留します。
- ・塩素剤により、処理水の消毒を行います。

- ・汚泥濃縮槽
- ・汚泥貯留槽

- ・余剰汚泥を沈殿槽から引抜き、汚泥を濃縮します。また、汚泥濃縮槽に代えて汚泥濃縮装置とすることもできます。なお、処理対象人口が500人以下の場合は、汚泥濃縮貯留槽とすることができます。
- ・濃縮汚泥を搬出時まで貯留します。

■JARUS - XV₉₆型の平面形状 (例)



■JARUS - XV₉₆型の運転工程 (例)

